

## 研究拠点 気仙沼大島漁協文庫の管理と活用

期間：2016年～

[所員] 安室 知

[特別研究員] 小野寺佑紀

### 2023 年度以降の活動にむけて

安室 知

[対象地域] 宮城県気仙沼市大島

[2022 年度の主な活動]

気仙沼大島漁協文庫は、東日本大震災（2011年3月）により被災した気仙沼大島漁業協同組合所蔵の漁業文書をレスキューした後、その保存と活用のため、神奈川大学研究拠点として2015年9月に設立されたものである。現在、4,000点を超える漁協資料が収蔵されるが、その運営・管理は、地元有志により結成された「大島漁協文庫の会」が常民研と協調しながら当たっている。

被災文書の分類整理作業は2020年以降コロナ禍により中断されており、今年度もまだ再開されていない。そのため、次年度以降の再開を期すこととする。また、漁協文庫の活用に関しては、大島漁協文庫の会事務局の小野寺佑紀（特別研究員）氏と安室とが11月5日に直接会って意見交換をおこなった。具体的な活動としては、コロナ禍が明けしだい文庫資料の整理作業を再開するとともに、気仙沼市大島において公開のシンポジウム等を開催することなどが検討された。



写真1 気仙沼大島漁協文庫（2016年）



写真2 大島漁協文庫の内観

#### ■ 2022 年度の活動

○大島漁協文庫に関する打合せ 2022年11月5日 県民ホール（山形市） 安室知・小野寺佑紀